

四日市市における交通の現状

I 四日市市の交通の現況

- 1 四日市市の公共交通 ……P2
- 2 自動車への依存と影響 ……P6
- 3 人口減少・高齢社会の到来 ……P8

平成22年6月29日

第1回 四日市市都市総合交通戦略協議会

1 四日市市の公共交通

① 公共交通網と人口分布

鉄道網を基軸に人口が集積しており、内陸部の住宅団地等の需要に対応してバス路線網がそれを補完している。

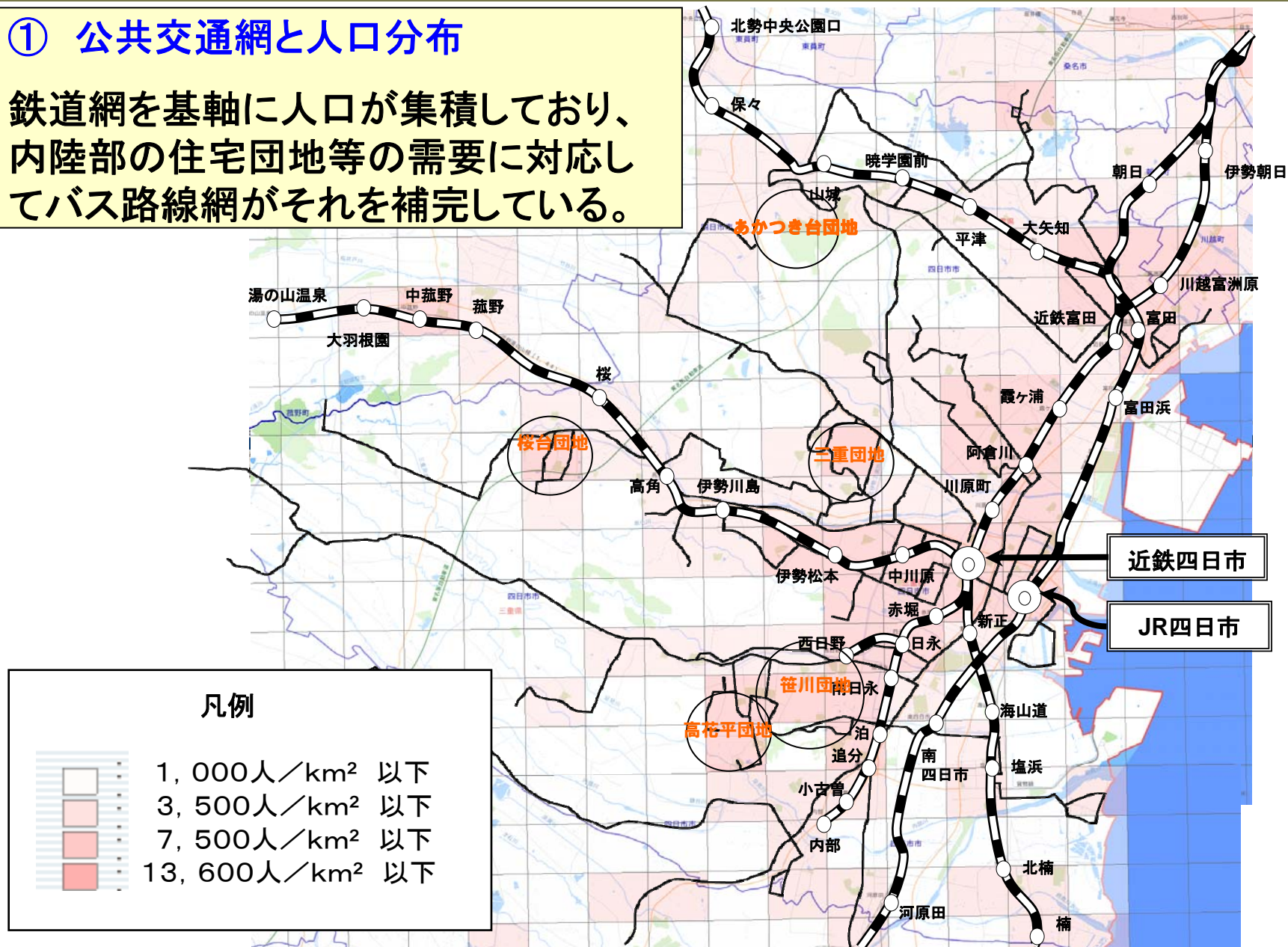
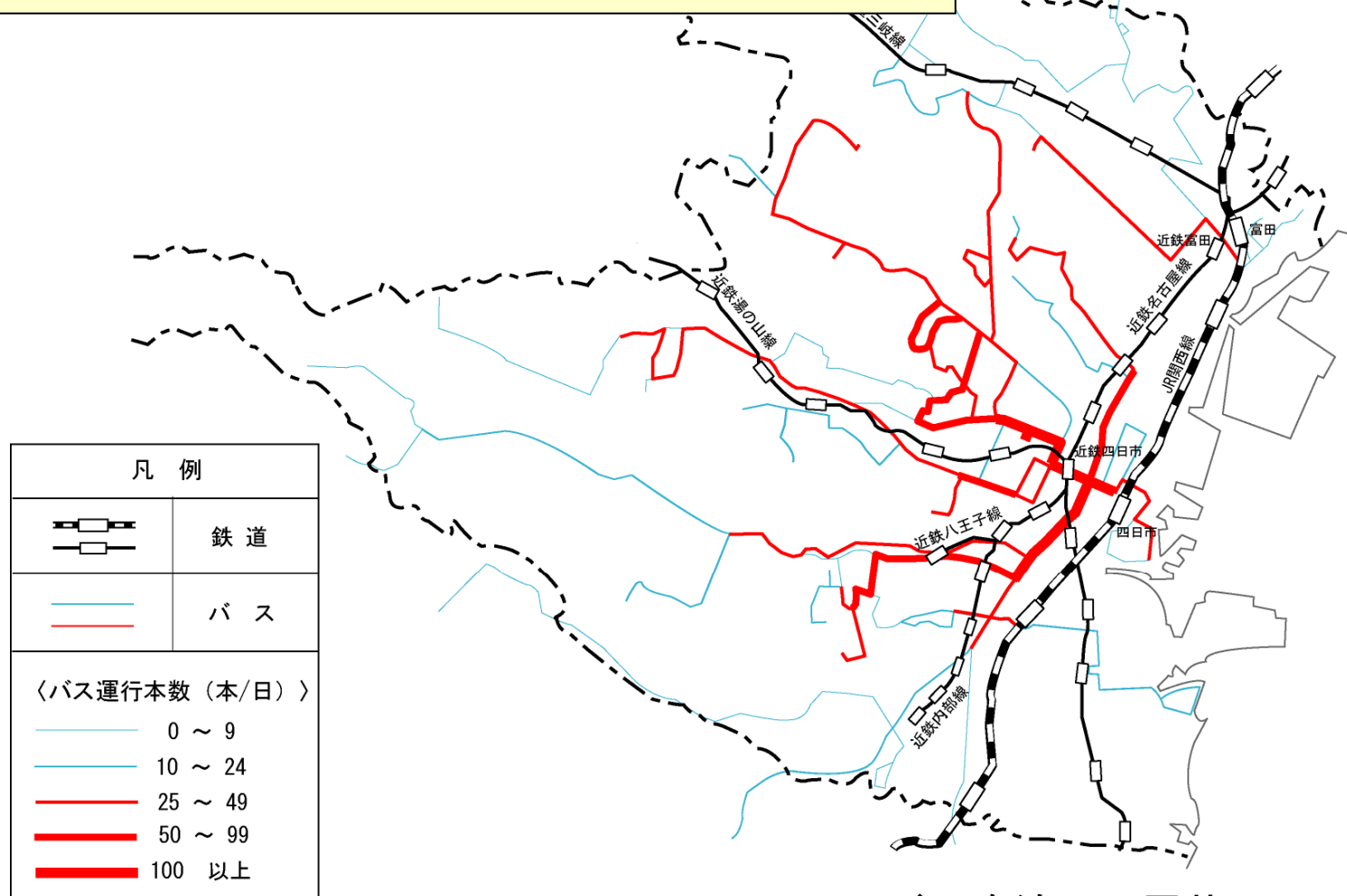


図 人口分布と公共交通網の整備状況

② 鉄道とバスの関係

バス路線の多くが鉄道と平行しており、ラッシュ時を中心に、輸送量を分担している。

また、バス路線の基終点が近鉄・JR四日市駅に集中し、両駅が圏域外への拠点となっている。



注) 片側本数を記述

図 バス路線の配置状況

③ 鉄道・バス利用者数の推移

鉄道・バス利用者数は徐々に減少してきたが、平成17年以降に若干の増加傾向がみられる。

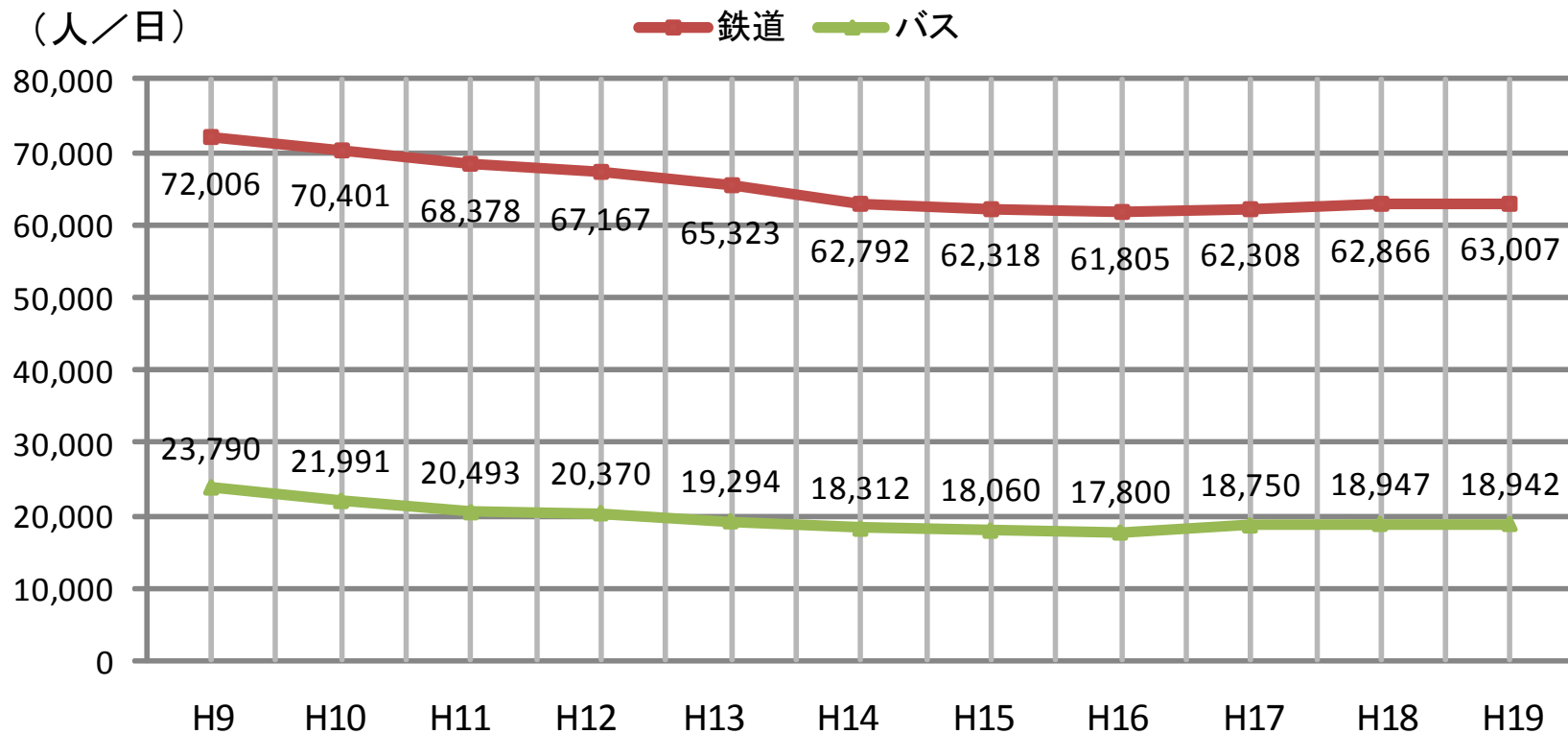


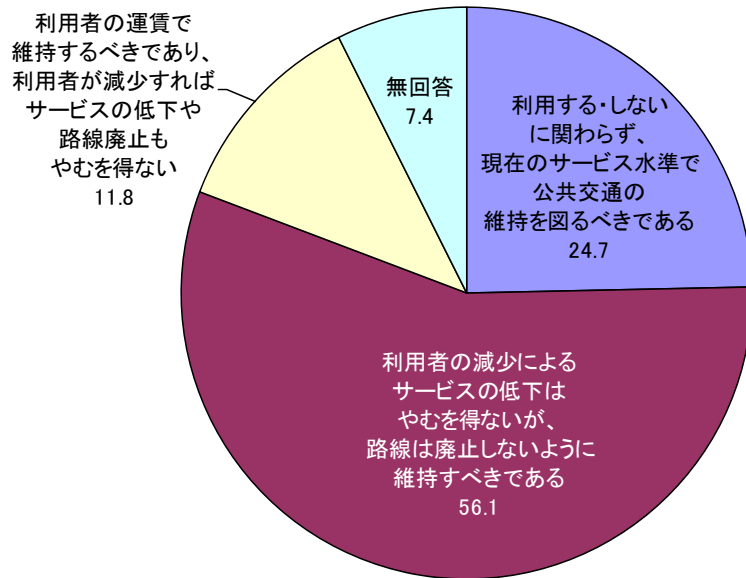
図 市内の1日あたり鉄道・バス利用者数の推移

④ 市民の意識

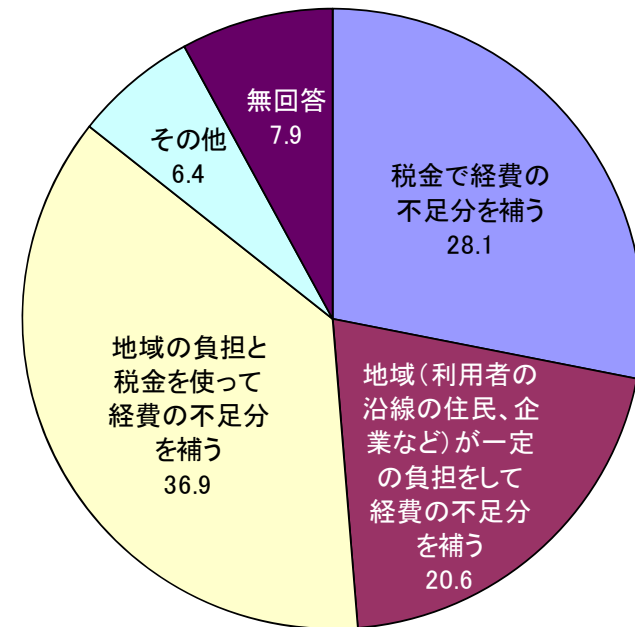
アンケートの結果は、

○公共交通網を維持すべきと8割

○維持するために「税金で負担する」が3割、「地域が負担する」が2割、「地域と税金で負担する」が4割近くを占めた



公共交通の維持について

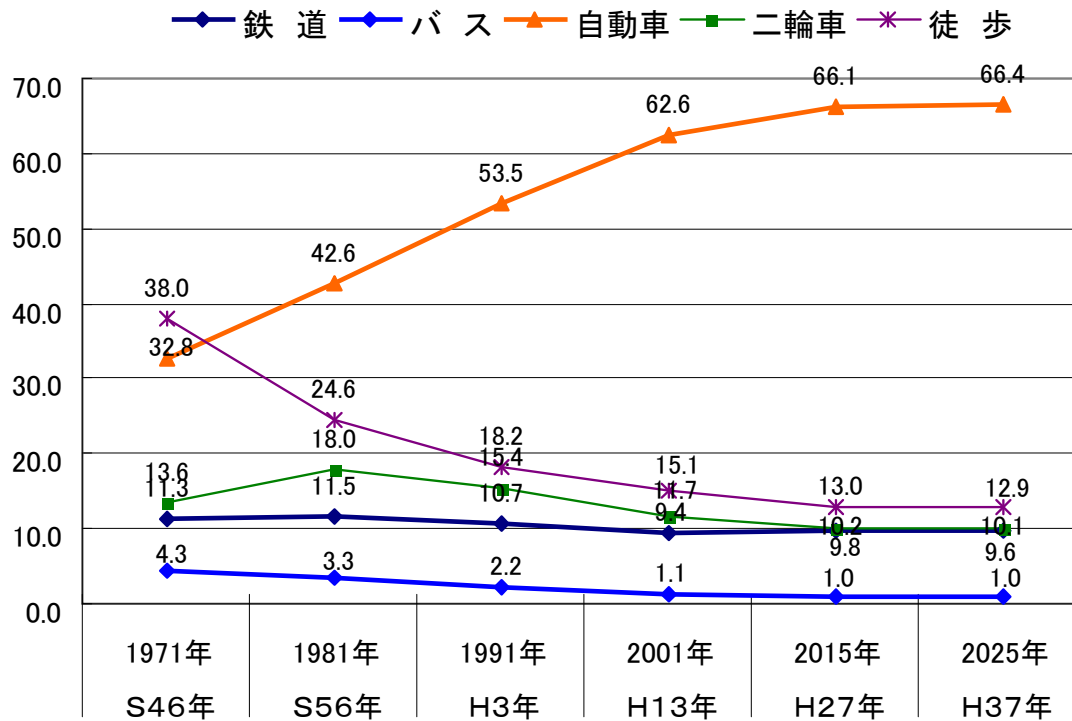


公共交通を維持する望ましい方法

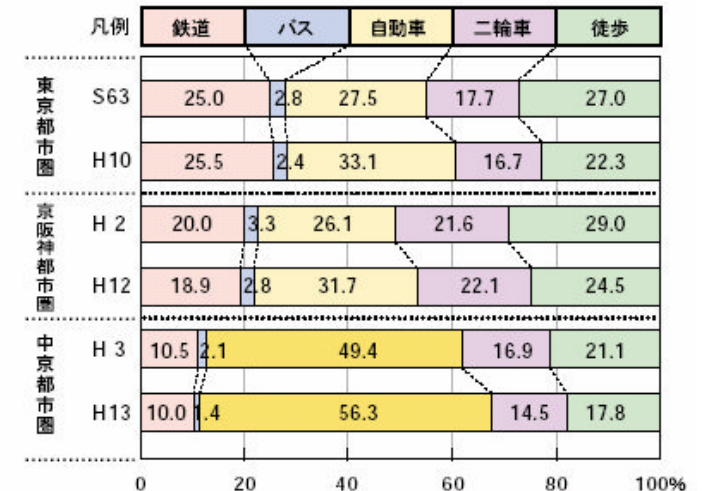
2 自動車への依存と影響

① 自動車分担率の動向

クルマ利用は昭和46年から平成13年で倍増(62.6%)、今後も暫くは増加の予想。
自動車分担率の高い中京都市圏の平均(平成13年、56.3%)をも超える。



注)昭和46年～平成13年は、実績値、平成27年、37年は予測値



【参考】三大都市圏の交通手段分担率
出典:各都市圏のパーソントリップ調査(平成13年)

図 代表手段別交通利用割合の経年変化

四日市市内を発着とする移動が対象

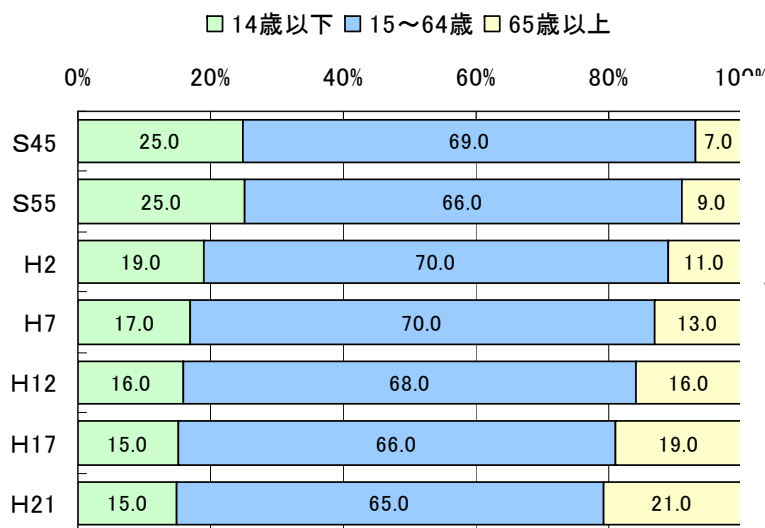
3 人口減少・高齢社会の到来

① 少子・高齢化による公共交通需要の減少

平成21年の四日市市の人口は約31.5万人、この内、65歳以上の高齢者が約6.6万人と、平成2年の約2倍に増加している。

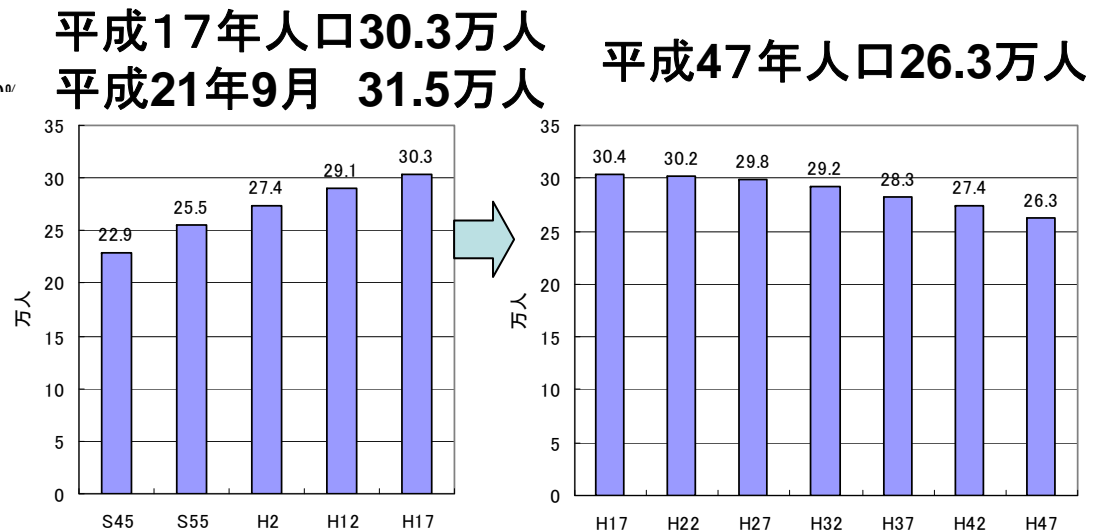
今後、自ら移動できる交通手段を持たない高齢者の移動を支援する公共交通サービス強化が必要とされている。

平成47年人口は26.3万人となり、公共交通利用者数も減少することから、公共交通サービスの提供にあたり、需要に適した交通システム導入も必要となる。



資料：国勢調査 平成21年はH21.7.1現在

図 年齢別人口構成の推移

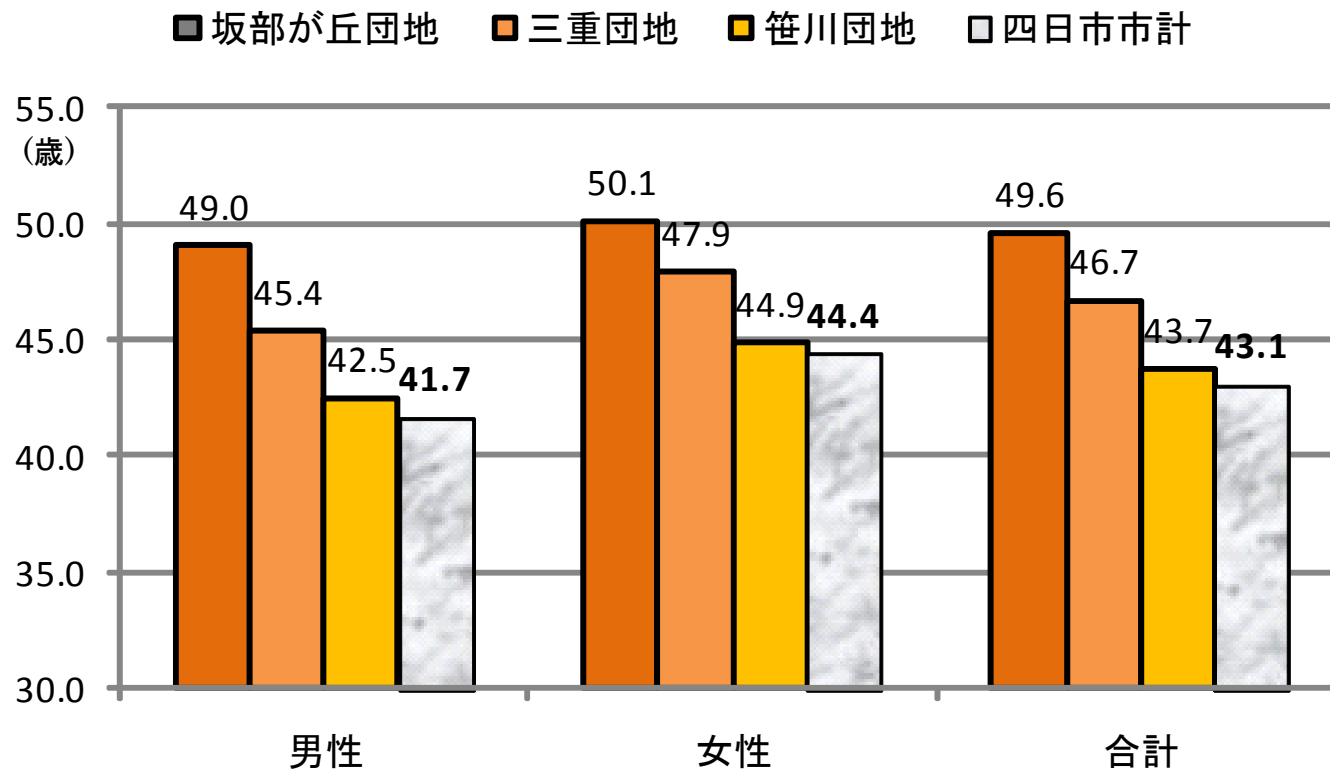


資料：日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計）
国立社会保障・人口問題研究所

図 人口の推移と動向

② 郊外住宅団地の高齢化

市内の平均年齢（男性41.7歳、女性44.4歳）に対して、坂部が丘、三重、笹川の3団地をサンプルに状況を比較すると、坂部が丘団地で男女計で6.5歳、三重団地で3.6歳、笹川団地で0.6歳といずれも市の平均を上回り、住宅団地の高齢化を示している。



資料：四日市市

※四日市市全体から3団地の人口を除いた四日市市の平均は上図の値より0.1歳減少する。

図 主な住宅団地の平均年齢（平成21年10月1日現在）